

経営比較分析表（令和3年度決算）

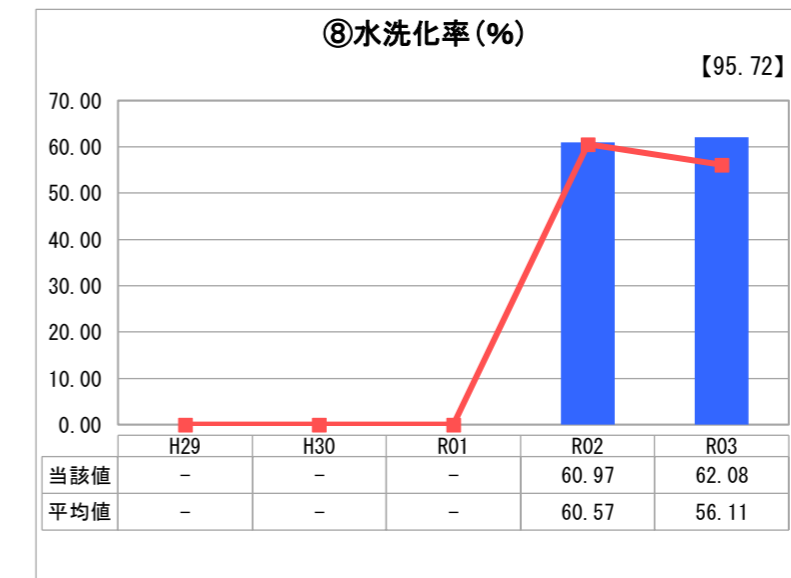
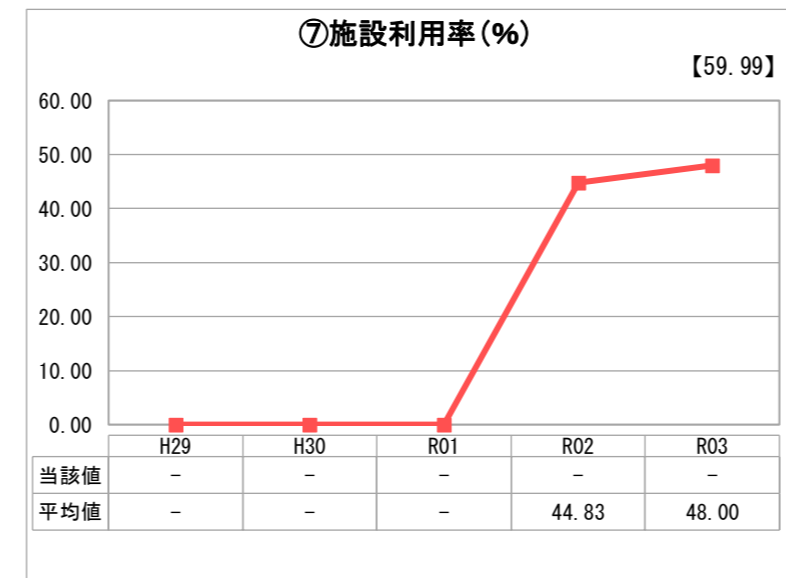
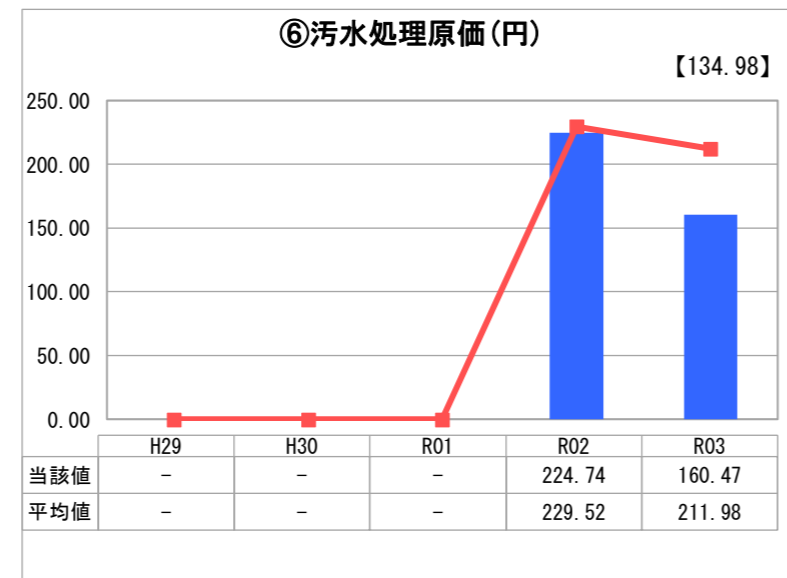
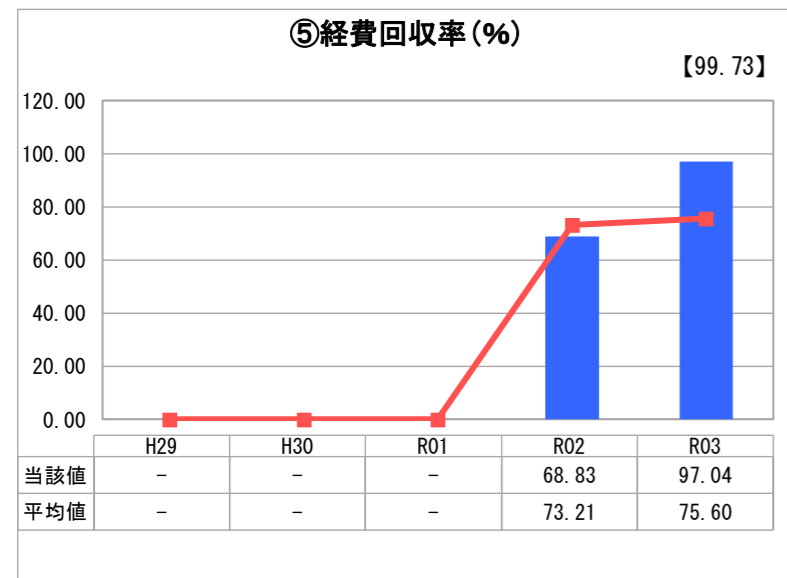
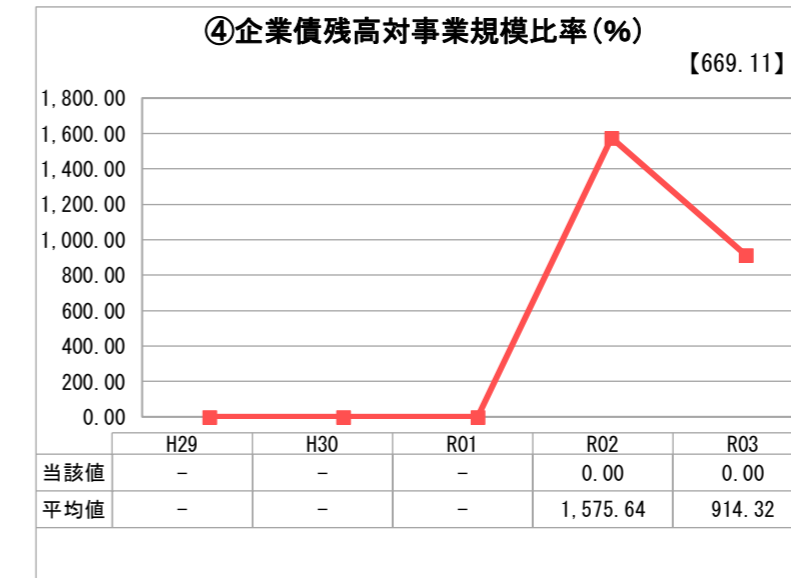
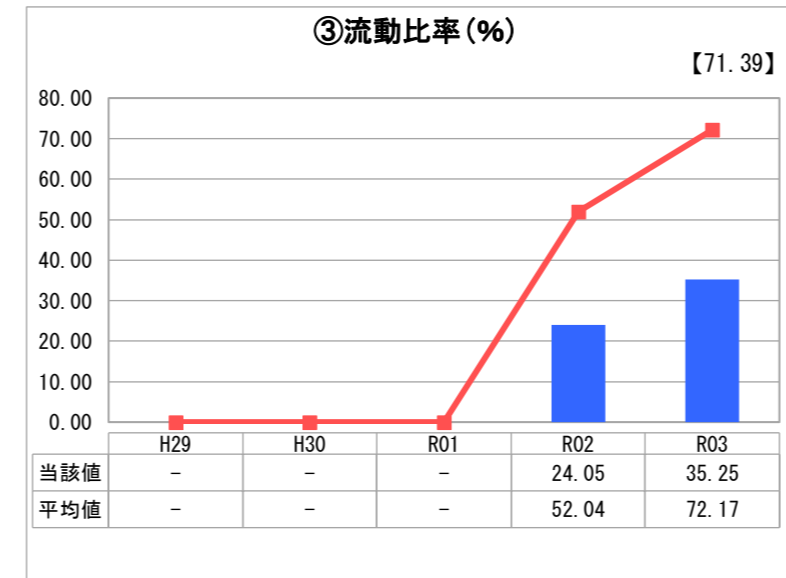
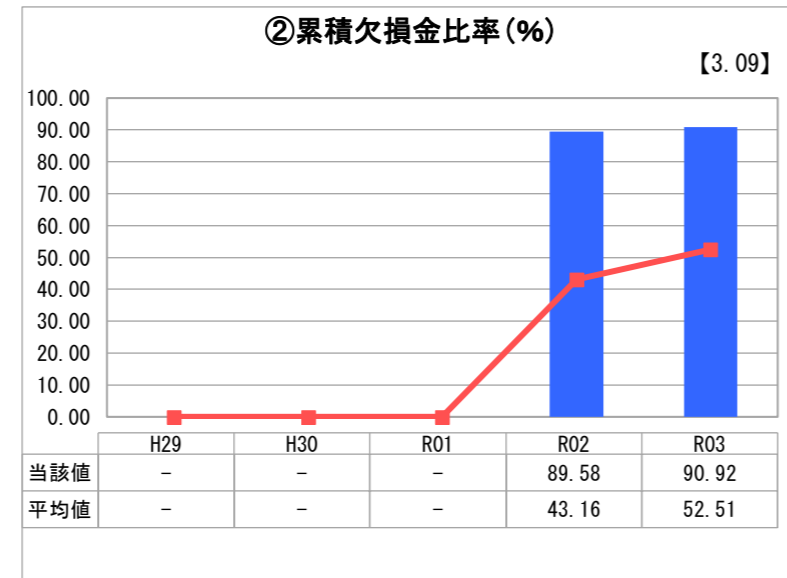
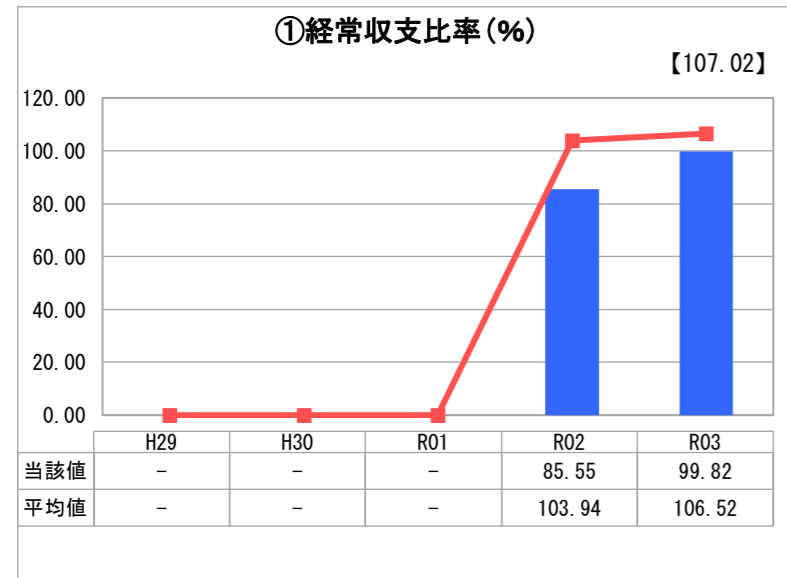
和歌山県 紀の川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	40.74	16.47	93.33	3,120

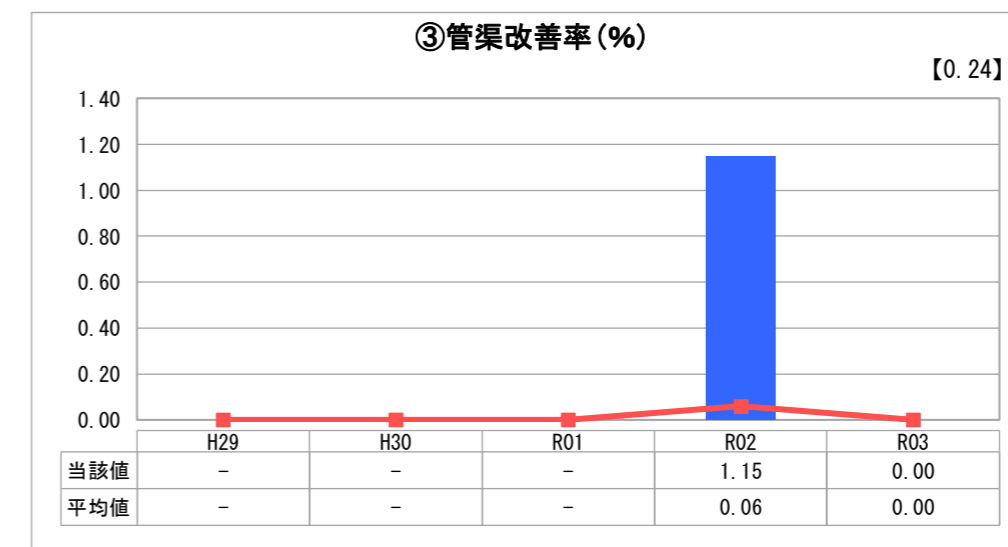
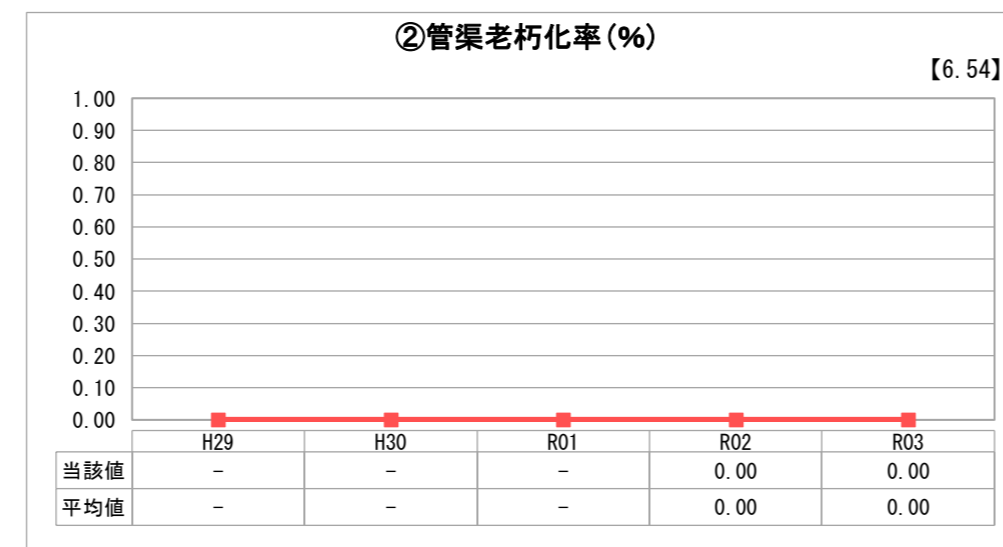
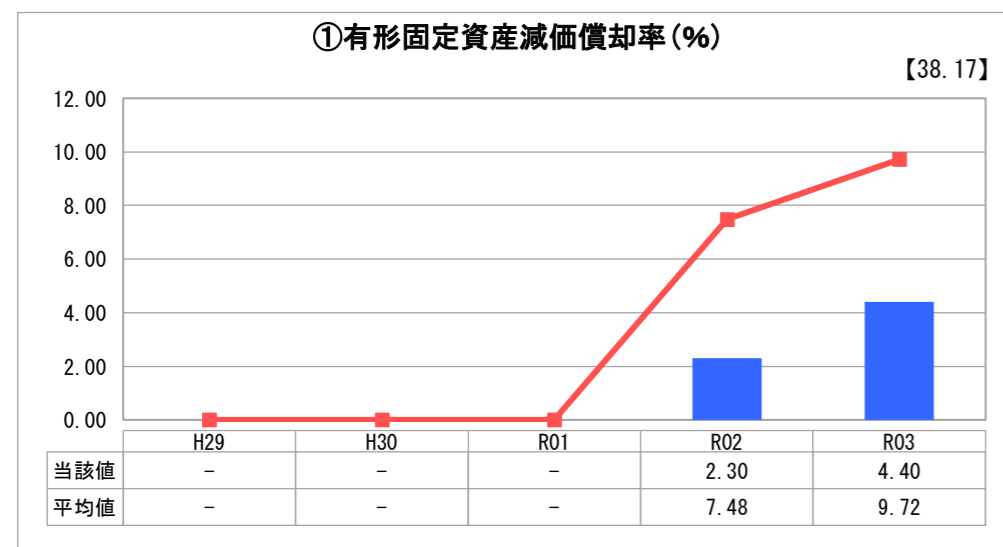
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
60,559	228.21	265.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,930	2.58	3,848.84

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率**
類似団体より低い水準となっており、民間委託による継続的な普及促進により、接続率の向上による収益増加対策に努めています。
- ② 累積欠損金比率**
地方公営企業法適用初年度からの欠損金が生じ、当年度においては一般会計からの基準内繰入の増額により当年度純損失は大幅な減少となったが、累積欠損金は微増となり、高い水準のままとなっている。
- ③ 流動比率**
下水道整備率が約32%と低く、下水道使用料のみで事業運営することが困難なため、一般会計からの繰入に依存しながらの厳しい財政運営となり、低い水準となっている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率**
全体事業計画が完了するまでの間に生じる資金不足額及び企業債残高は、一般会計が負担することとなっている。
- ⑤ 経費回収率**
汚水処理費は、現行の下水使用料で概ね賅っている状況で、類似団体より高い水準となっている。
- ⑥ 汚水処理原価**
地理的な要因等により、全国平均より高くなっている。
- ⑧ 水洗化率**
高齢世帯の増加や経済的理由等により、接続率が低い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率**
本市下水道整備率は、約32%と整備途上となっており、全体的には新しい施設であるため、低い水準となっている。
ただし、平成29年度に公共下水道に取り込んだ特定環境保全公共下水道については、管路施設老朽化が進んでいるため、令和4年度からストックマネジメントによる更生工事に着手しています。
- ③ 管渠改善率**
本市の下水道施設整備事業は、管渠新設工事が大部分となっており、更新・改良・修繕による管渠工事が少ないため、低い水準となっている。

全体総括

本市の下水道事業は、整備率が低いため、全体計画における下水道整備事業の早期概成を目指しています。整備事業費の財源については、国庫補助金、企業債借入金、一般会計出資金により事業を推進していますが、一般会計からの繰入に依存しながらの厳しい財政運営となっています。
今後も、接続率の向上に努めながら、計画的かつ効果的な整備事業を推進します。また、令和4年度に中長期的な経営計画となる経営戦略を策定し、持続可能な事業運営を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。